

コマツNTC株式会社の事業適応計画のポイント

令和5年12月18日

- コマツ地球環境方針に従い、環境汚染の予防と環境保全の継続的な改善に努めるとともに、地球環境に考慮した開発、生産活動におけるCO2排出量の削減に努めている。
- 本計画では、自家消費型太陽光発電設備を設置し、製品製造時に排出されるCO2を減少させていくことで付加価値額の創出と環境への負荷軽減の両立を目指す。

<事業適応計画の概要>

1. 事業適応計画の実施期間

令和5年12月 ～ 令和7年3月

2. 生産性向上目標

炭素生産性を10.3%向上させる。

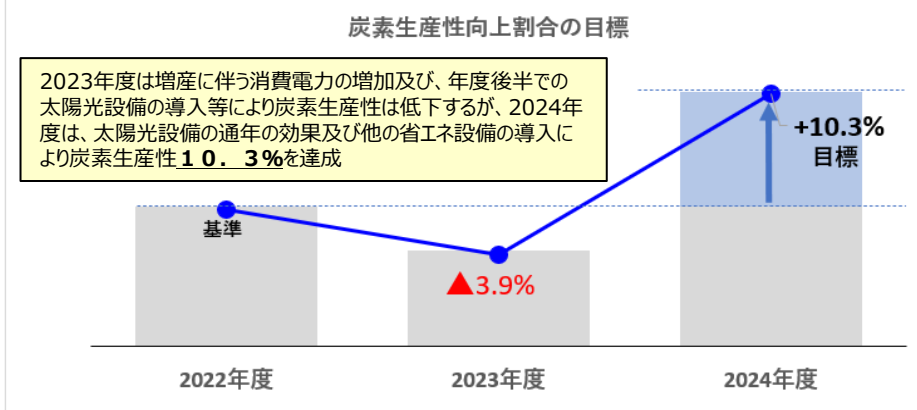
3. 前向きな取り組みの内容

主力工場である福野工場に大型の自家消費太陽光発電設備を導入することで、CO2排出量の削減を行い、炭素生産性を向上させる。また、CO2排出量削減対策として、太陽光発電のほかにもチラー冷却化やコンプレッサー更新も導入することで炭素生産性向上させていく。

4. 支援措置

税制措置（カーボンニュートラルに向けた投資促進税制）

<取組の内容イメージ>



<福野工場の外観>

